

授業づくりの工程

前題材までに到達している実態を把握

子どもに望む姿を想定

指導内容の決定
(研究生産物を基に)

学習指導要領の指導
内容から段階を決定

題材目標の決定

教材の設定

題材設定の立場記述

題材計画構想

授業構想シートを活用

本時案作成

題材開始

R研で毎時間の授業の
評価・改善

題材終了

観点別評価の実施

実践事例

指導内容：【領域】書くこと 中学部1段階 知・技イ(ア) 思・判・表イ 学びウ
教材と仕組み：「文の並べ替え」で、文や文章の内容から順序を考えて構成し、始め・中・終わりの構成で文をまとめよう
題材目標(対象生徒：K)

知識及び技能	教師が例示した3文を始め・中・終わりの構成に並べ替えるとき、各文の内容やつながりがわかり、文や文章の内容が伝わりやすい構成になるように並べ替える。
思考力・判断力・表現力	提示した題目について文章を書くとき、自分がメモ書きした書きたい内容のそれぞれが「始め・中・終わり」のどこに当てはまるかを判断し、始め・中・終わりの構成で文章を書く。
学びに向かう力	言葉がもつよさに気づき、考えたり伝え合ったりしようとしている。

評価(対象生徒：K)

知識及び技能	【始め】・・・出来事や書く内容の主題、【中】・・・感想や理由、【終わり】・・・まとめ、今後の抱負という視点をもとにして文や文章をそれぞれに振り分け、文章の内容が伝わりやすい構成になるように並べ替えることができた。
思考力・判断力・表現力	自分が書きたい内容が【始め】【中】【終わり】のどこに適しているかを判断してワークシートに記入し、「始め・中・終わり」の構成で文章を書くことができた。
学びに向かう力	友だちの文と自分の文の違いを発表したり、友だちが書いた文の構成について考えたりすることができた。

学習指導要領の内容から
三つの柱の
題材目標を
決定する
経緯と整合性
の根拠

ポイント

題材目標を決定するまでの経緯

できることと、できるようになってほしいことの整理

できること	・伝えたい事はたくさんある！ ・思いついたことを、どんどん書ける！
できるようになってほしいこと	・文にまとまりがなく、何を伝えたいのかわからないので、もっと読み手にわかりやすい文を書いてほしい。

学習指導要領に準じたチェックリストで到達状況をチェック

- 中1段階 思・判・表の「書く」はすべて△
- ☆文の「まとまり」を意識して書くことを身につけてほしい。

知識及び技能 事柄の順序等、情報と情報の関係について理解すること	思考力・判断力・表現力 相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること
-------------------------------------	--

主体的で対話的で深い学び
の実現に向けた工夫

ポイント

友だちと対話することによる高まり

自分が構成した文章と、そうした理由をお互いに発表し合う時間を設けることで、わかりやすく伝えるための「始め」「中」「終わり」それぞれの文や文章のつながりと構成について考えを深めることができた。

なるほど、こんな考え方もあるんだ！ほくとはどう違うかな？



ポイント

お互いに評価し合う

より構成に着目できるように、友だちの発表を聞いて○・△のカードを提示する活動を設定することで、「始め・中・終わり」の構成について思考する場面が増えた。



一番伝えたいことが伝わる構成になっているかな？

知識及び技能と
思考力・判断力
・表現力等の
それぞれの
内容の高まりや
つながり
について

ポイント

習得した知識を活用するための学習活動

- 【知識及び技能】
・相手が読み取りやすい文章を書くために、「始め・中・終わり」のそれぞれに書くべき内容を整理する活動を取り入れた。
- 【思考力・判断力・表現力】
・知識として得た「始め・中・終わり」の考え方をもとにして、自分が伝えたい内容をわかりやすく伝えるための構成を考えて文章を書いたり、習得した知識が深まるように、友だちの文と自分の文の構成を比べたりする活動を設定した。

三つの柱の目標を達成するための働きかけや工夫

ポイント

正解は、自分で決める。理由が大切！

- ・文を並べ替える活動では、文の内容やそれぞれのつながりに目が向くように、始め・中・終わりの判断が付きやすいもの(3文)から徐々に判断しにくいもの(4~5文)になるように課題を配列した。始め・中・終わりの構成が判断しにくい文については、伝えたいことや文のつながりを意識して並び替えに取り組むことができるように、文の構成によって伝わる印象が変わることを例を挙げて示し、活動に取り組んだ。

気づき・改善 など

成果と考察

- ・文を並べ替える活動では、友だちの発表を聞いたり、自分が並べ替えた理由を発表したりする中で、自分が考えた構成以外のものでもわかりやすく伝えるための構成になることを学習することができた。「始め・中・終わり」の構成が、自分が伝えたいことをわかりやすく伝えるための一つの手段と解釈することで、書く文章の構成が型にはまったものにならず、そのときに応じた構成で文章を書くようになった。

改善すべき点

- ・生徒同士での学習評価については、友だちの発表を聞き取るだけでは内容の理解が難しかった。そこで、今回は発表内容を板書し、可視化して評価したが、生徒が自分で評価できる手立てとして「始め・中・終わり」や話の内容をすぐに手元で確認できるためのチェックシートが必要と感じた。
- ・授業でできるようになったことを生活に生かすために、係活動や日記など、日々の取り組みの中に同様の活動を設定する必要があると感じた。

